

BLACK-Arbeit KEEP OUT
KEEP OUT BLACK-Arbeit

借金して進学。返済のためにバイト。
それでも私は夢をかなえたい。

KEEP OUT BLACK-Arbeit
BLACK-Arbeit KEEP OUT

大阪弁護士会貧困・生活再建問題対策本部
設立5周年記念 市民シンポジウム

奨学金とブラックバイトから
考える若者の貧困

2015年9月26日(土)

13時30分～16時30分(開場:13時00分)

大阪弁護士会館2階ホール

〒530-0047 大阪市北区西天満1-12-5(問い合わせ先 TEL.06-6364-1227)

主催: 大阪弁護士会

参加無料
申込不要



- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口1から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR 東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

借金 奨学金 ローン



Black-Arbeit

乗り越えるためには その手は、離せない？

KEEP OUT BLACK-Arbeit KEEP OUT BLACK-Arbeit

日本では、義務教育は中学まで。高校・大学へ進学する学費は自己負担です。国立大学の授業料は、年間36,000円(1975年)でしたが、40年間で年間535,800円へと10倍以上値上がりしています。卒業までにかかる学費は、国立大学で約250万円、私立大学だと約450～650万円になります。

一方、親・家庭の所得は年々減り続けています。全世帯平均所得は、664.2万円(1994年)から528.9万円(2013年)と、100万円以上も減少しています。

その結果、大学に進学するために奨学金を利用せざるを得ない学生が増加し、すでに大学生の50%以上が奨学金を利用しています。その多くが有利子の奨学金(要するに借金・ローン)で、月12万円の奨学金を4年間借りると、卒業時点で576万円もの借金を抱えることになるのです。

お小遣い稼ぎではなく、学費や生活費のためにアルバイトをしている学生も増えており、こうした大学生の窮状や無知につけこんで、無理なシフトを組んで長時間働かせたり、売上ノルマを課したり、残業代を払わないなどの「ブラックバイト」が問題となっています。

今、大学生が置かれている実態を告発するとともに、わが国における奨学金制度、学費・教育費の公的負担のあり方について考えるシンポジウムを企画しました。

①実態報告

いま、大学生の生活、奨学金、アルバイトはどうなっているのか
▶ 関西学生アルバイトユニオンの皆さん

②実態報告

高校生にも広がっているブラックバイト
▶ 府立高校教員

③実態報告

奨学金が返せないという相談が急増中
▶ 佐野修吉さん(奨学金問題と学費を考える兵庫の会)

④講演

奨学金制度と学費負担のあり方を考える
▶ 岩重佳治さん(弁護士・奨学金問題対策全国会議・事務局長)

⑤質疑応答・意見交換

一時保育サービスのお知らせ

要予約
(無料)

[対象] 首のすわっている乳児～未就学児
[託児時間] シンポジウム開始15分前から終了15分後まで
○お申込を希望される方は、2015年9月18日(金)までに
下記問合せ先まで電話でお問合せください
[問合せ先] 大阪弁護士会(担当事務局)
TEL.06-6364-1227